

美園南中だより

【学校教育目標】

『挑戦 創造 感動』

～One for All , All for One～

【第9号】 令和5年1月6日

さいたま市立美園南中学校

〒336-0967 さいたま市緑区美園 6-15

TEL 048-878-3511 fax 048-878-3512

✉ misonominami-j@saitama-city.ed.jp

生徒数 679名 教職員数 54名

「心の灯（ともしび）」

美園南中学校長 内田 崇史

サンタの帽子をかぶったミニサンタ扮する吹奏楽部の皆さんが、冬の朝の体育館のキンと寒々と張りつめた空気を、あたたかく和やかな音色で包んでくれました。昨年、美園南中のラストを飾る行事、吹奏楽部によるクリスマスコンサートです。軽やかにそして優雅に、まさにクリスマスイブを彩る祭典でした。保護者をはじめ本校生徒も多数応援に駆け付け、それはもう会場のあたたかい拍手も含めた一体となったステージでは、参加していた全員の心に灯（ともしび）が。数々のクリスマスソング……そこには北欧のような異次元の世界が広がっていました。あっという間に癒しの時間も過ぎ、南中行事も幕を下ろしました。関係者皆様、本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。

そして、2023年が無事スタートしました。あけましておめでとうございます。今年の干支は（えと）はうさぎ（卯）年です。六十干支では、癸卯（みずのとう）にあたる年です。ものの本によれば、「癸」は順序で言えば最後にあたり、一つの物事が収まり次の物事へ移行していく段階。「卯」は増えていく、春の訪れ等を感じる、などの意味があり、その二つを備えた「癸卯」は、昨年までの様々なことに区切りがつき、次へと向かっていく。これまでの努力が花開き、実り始める年であるそうです。前向きで、ちょっぴりうきうきした気分になるのは私だけでしょうか。

正月休みに「卯」の年にちなんで「狛兔（こまうさぎ）」のいる浦和中山道沿いにある「調（つきのみや）神社」に初詣に行ってきました。調神社は、鳥居のない神社として有名で、狛犬ではなく狛兔が置かれているのも全国的に珍しい神社です。今年の干支ということもあってか、参拝のための多くの方々の列で境内が埋まり、身動きが取れないほどでした。参拝後の皆さんの表情はりりしく感じられ、新年への思いが伝わってくるようでした。正月は、1日違いで暦が改まるだけですが、年が変わると私たちの気持ちも新たになります。不思議なものです。初詣は、そんな特別な思いを持つための心の儀式のような気がします。コロナ禍から脱却し、心も体も伸びゆく年になるよう前向きに、そして目の前のことを着実に前に進めていきたいと考えています。今年はどうな成長が待っているのか、そのためには、地に足の着いた地道な歩みが必要です。私自身も含め、皆様に幸運が訪れる年になりますよう祈念申し上げます。

あいさつは誰もがができるコミュニケーションです。あいさつすることにより、人との距離が縮まります。さらに、この美園南中学区をあいさつあふれ、生き生きとした表情の子ども達を育てるために、美園小学校とも連携し、家庭や地域と一体化したあいさつプロジェクトを行います。学校運営協議会（美園小と南中合同）で決定し、今月1月16日（月）から27日（金）までの2週間の実施です。登校や下校の時間帯、生活のあらゆる場面です。児童や生徒は、地域の方々誰にでも、自ら率先して、ニコッと笑ってのあいさつを心がけます。是非保護者や地域の皆様、あたたかい1秒コミュニケーションをお願いします。登下校時間だけではなく、家庭では、「おはよう」「おやすみなさい」「いってらっしゃい」「いってきます」「ただいま」「おかえりなさい」「ありがとう」が自然と口をつくようになるといいな、と思っています。「あいさつ」から広がる街、そんな美園南中学校区。なんて素敵なのでしょう。すべての方々の心に灯を。挨拶から。

